

南オーストラリア州を訪問して

平田明子

緑豊かなアデレード

九月一日から十二日間、新潟県青年リーダー養成海外研修に参加し、南オーストラリア州を訪問しました。この研修は、県内の二十代の男女を対象として毎年行われているもので、青年活動に取り組む人など、いろいろな人たちが県内のあちこちから集まりました。南オーストラリア州は、シドニーなど多くの観光客が訪れる所に比べると、どちらかといえばマイナーな方だと思っています。私たちの訪れた町アデレードは、公園の中に建物が造られているため、どこへ行っても緑の多い、自然に囲まれた住みよい所に感じられました。

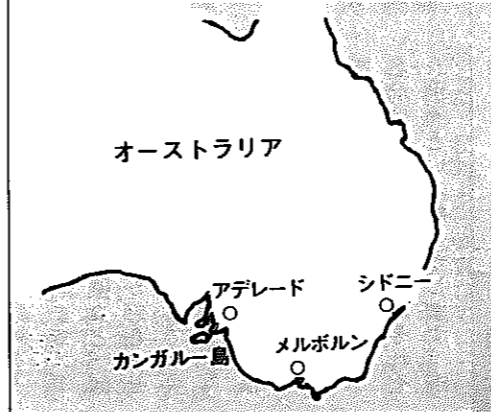
羊の毛刈り

最初にオーストラリアといえば、まず羊を思い浮かべる人が多いと思います。私たちが訪れた時期は

ちょうど、年に一度の羊の毛刈りの時期に当たり、二泊三日のホームステイ中、運よく羊の毛刈りの様子を見ることができたのです。そこはアデレード市街から車で一時間ほど離れた所にある牧場でした。行く途中よく見かけたのはやはり羊、羊、羊。草原の中に、ぼつんと建てられた牧場では、農夫が動作の鈍い羊を二頭、一頭重そうに引っ張り、羊の毛刈り作業をしていました。バリカンでおなかの回りから刈り始め、一気に一枚物の羊毛を刈り上げてしまうのです。羊はヤギへと変身してしまいましたが、これが毛皮や毛糸などになるのだと思うと、よくできているものだと思心させられました。先日、ある雑誌で「オーストラリアでは羊が何千頭も埋め殺されている」という記事を見ました。これは今年、羊の数が膨大に増え、値打ちが暴落してしまったためだ



ひらた・あきこ（下赤沢・23歳）
春はサイクリング、夏は水泳、秋はテニス、冬はスキーという笑顔のすてきななはつらつお嬢さん。



サウス・サイド・センターを訪れて

次に、このアデレード市内にあるサウス・サイド・センターという施設を訪ねました。そこは中・高校生らが自由に出入りできる憩いの場として造られた建物です。私たちの街にある教育センターやカルチャーセンターと同じようなものです。ここでは体育館やピリヤードをする場所などがあり、子供たちが自由に遊べ、友達づくりができます。また、食べ物などもほかに安く手に入れられるという利点もあり、子供たちを貧しさや非行から守ろうという趣旨が込められているそうです。

仲間ができたことが大きな収穫

今回の研修は、わずか十日間の日程でしたが、毎日が驚きと感動で明け暮れてしまいました。この研修に参加して、最もよかったのは、一緒に研修に参加した多くの仲間ができたことです。県内のいろいろな地域、いろいろな職業の友人たちは、これからの私の大きな財産になると思います。今反省して言えることは、英語を話せたら、もっと深く現地の人と交流できたのと思うことです。これから若い世代の人たちは海外へ出る機会も多くあると思います。このような研修にもたくさんの人から参加してほしいと思いますし、いろいろな所で見聞と交流を深め、伸び伸びと、大自然の中で大の字を描いてきてほしいと思います。



カンガルー島で

いざ CLUB

作品 待ってま〜す!

♥イラストは官製はがきに黒1色ではっきりと。鉛筆がきけるだけご遠慮ください。
♥ペンネームを希望する人も住所・氏名・年齢は忘れずに。
♥締め切りは毎月15日とします。締め切り日を過ぎてから届いたものは、翌月分へ回します。
♥あて先は 〒950-12 白根市大字白根 白根市役所 企画調整課 広報広聴係 です。
♥採用分には粗品を差し上げます。どしどし応募してください。



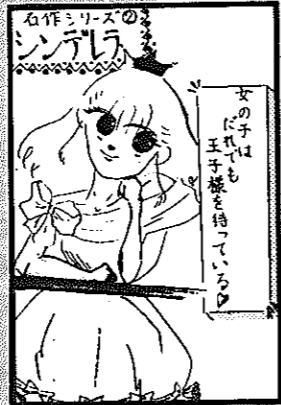
▲ペンネーム 高屋えび之介さん（みのり）



▲佐藤弘和くん（みのり・7歳）



▲外川秀明くん（東笠巻・13歳）



▲ペンネーム けろちゃん2さん（白井・13歳）



▲ペンネーム てこさん（赤沢・12歳）

ドラゴンクエストの人気はスゴイ！それにドラゴンボールZも、載せられなかったけれど、たくさん届きました。次号は恒例の「特集」です。常連さんも、まだ出したことのない人も、出してもボツになる人も、どしどしお寄せください。メッセージ付きも大歓迎です。

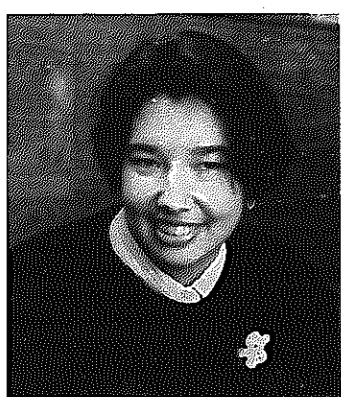


白井中学校 英語指導助手 いい生徒たちで幸せです

へん・きんさん（新潟市二十六歳）

英語指導助手として、昨年九月から白井中学校に来校しているへん・きんさん。ニュージランド生まれで、来日する前はジャーナリストとして新聞社に勤務していました。白井中学校の印象については「みんなとてもいい生徒たちです。親切で、何にでも一生懸命取り組む姿勢が好きです。大規模校に比べると和やかで、生徒をよく知ることができ、家族のような雰囲気ですね」とのこと。授業に歌やゲームを取り入れ、楽しみながら英語に親しめるよう、工夫も忘れません。

いきなり「はしが使えますか?」おすしは食べられますか?」と質問するのは、あまりいい気分ではないと言います。「多分、外国人とあまり話をする機会がないので、どんなふうに話をしていいかわからないのでしよう。でもみんな親切で、いい人ですね」と、日本人評を。



クリスマスも間近の十二月十九日、生徒たちが手作りのクリスマスカードをへんさんにプレゼント。「とってもうれしかった。生徒たちのお陰ですごく幸せです」と、思い思いのメッセージが書かれたたくさんのカードを見せてくれました。「帰国後は大学院で言語学を学びたいと思うけれど、まだよく分からない」と言いますが、日本での経験を生かしたご活躍をお祈りします。